

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 蔵の家

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 5 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	<重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人と家族等と話し合ったり、数年後を見据えたケアや職員間の共有を深めるための研修を実施する。	重度化した場合や終末期に対する対応の知識を得る。重度化した場合、家族の意向に副えるよう、これまで以上に、医師、看護師、事業所が連携する態勢を整える。施設で出来る可能なケアについて職員が理解し、家族に説明出来るようになる。	重度化した場合や終末期に対する対応の知識や施設で出来る可能なケアについて理解できる研修を行う。	6ヶ月
2	6	<身体拘束をしないケアの実践> 勤務年数の長い職員が多くなってきている為、濃密な人間関係が伺えるが、言葉遣いに関して、より細やかな配慮が必要である。	身体的な拘束はもちろん、言葉での拘束をしないように、細やかな配慮をした声かけを実施する。	接遇、声かけについての研修を行い、普段の声かけ、対応を見直す機会を設け、配慮ある対応を行うようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。